

(別紙4(2))

事業所名 愛の家グループホーム富士宮

目標達成計画

作成日: 令和8年 2月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	地域の方や保育園・小学校などに運営推進会議の開催案内を出しているものの、参加につながない	事業所が地域とつながるためにも、多くの人に運営推進会議へ参加してもらえるようにする	地域や関係機関へ、引き続き運営推進会議の開催案内を出す 欠席の場合は、議事録を直接届ける 簡単な報告や会話の機会を持ち、関係を築く	12ヶ月
2	6 (5)	虐待防止・身体拘束廃止委員会や各種研修は定期的に実施されているものの、議事録や研修報告書のまとめ方が統一されておらず、後から内容を確認しづらく、活用しにくい状態である	委員会及び研修に関する書類を整理し誰でも容易に内容を確認・活用できる状態にする	虐待防止・身体拘束廃止委員会の様式を作成する。作成した議事録や今活用している研修報告書を分類し、ファイリングして保管する。必要な時に誰でも確認できるよう、保管場所を明確にする	3ヶ月
3	23 (9)	聞き取った利用者の思いやつぶやき、表情から読み取れる気持ちなどの情報共有が口頭伝達だけになっており、全ての職員に共有できているかという点で確実ではない	利用者の思いを記録として残し、職員間で確実に共有・活用できる仕組みを整える	電子記録に、利用者の思いやつぶやき、表情から読み取った内容を記録するための項目を設ける。職員へ周知し、聞き取った内容を記録してもらうよう促す。ユニット会議で記録内容を共有し、話し合いに活かす	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。